

ヒョウの森を守ること、それは人間の未来を守ること。

野生動物たちの環境が脅かされている現実を、子どもたちにわかりやすく伝える環境絵本「マカマカの地球歩き」シリーズ第1巻で登場した、最も絶滅の危険が高いアムールヒョウの生態、生息する森林の現状、アムールヒョウを守るために活動しているロシアと日本の支援団体の紹介など、貴重な写真と資料で紹介します。

新潟などから飛行機で1時間半という距離に、「タイガ」と呼ばれるロシア沿海地方の森が広がっています。ここ100年の間に森林伐採、山火事、密猟などの原因でアムールヒョウは急激に数を減らしました。自然保護区内に約30頭が生息するのみです。

この美しいヒョウの姿が地球上から消えてしまう前に、私たち人間ができることは森を再生させることしかありません。そして、それは私たち人間の未来へとつながっているのです…。

ネコ科の動物の中で 一番美しく優雅なアムールヒョウ

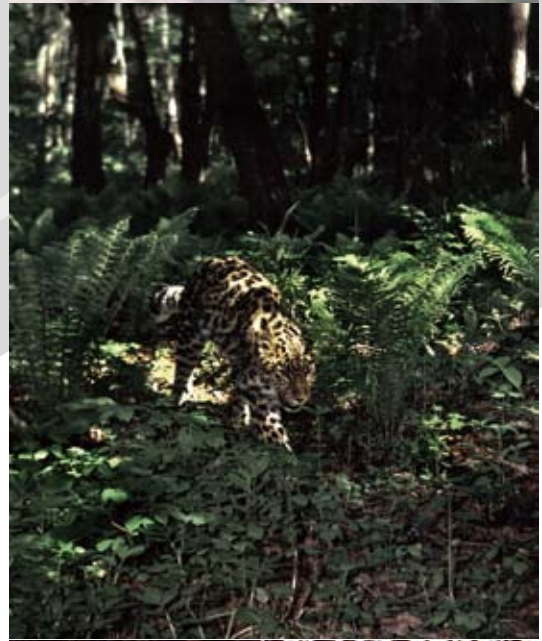
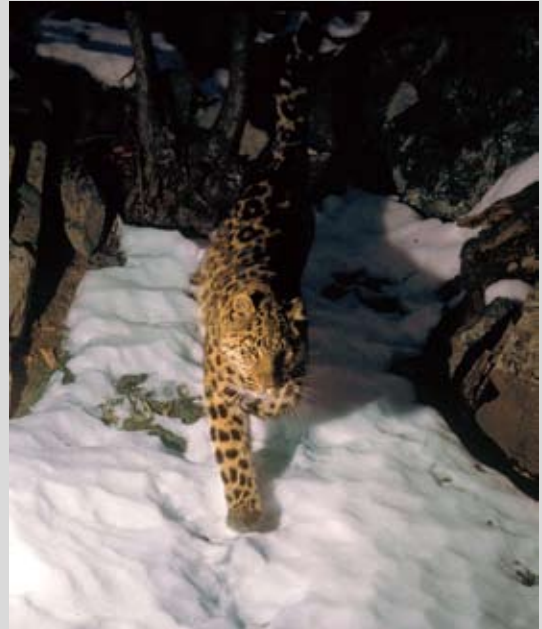


撮影 **Yuri Shibnev ユーリー・シブネフ**
ケドロバヤ・パジ自然保護区レンジャー
長期に渡りアムールヒョウの撮影・研究を続けているのは、世界でもユーリー・シブネフ氏だけ。シブネフ氏は、長年の研究をもとに独自の方法で自動撮影に成功しています。今回、特別な許可を得て、その貴重な写真の数々を、パネルと映像で紹介いたします。

ネコ科ではヒョウが一番美しく優雅である。視覚や聴覚が鋭く、嗅覚もわるくない。落ち着いているときはゆっくり動くが、獲物を追っているときは跳んだり、稲妻のように速く走ったりするし、自分よりも重い獲物をくわえて樹に登ったりすることもできる。

この優雅なけものはきわめて用心深くめったに姿を見せないで、普通の方法で写真が撮れることは少ない。そのため、これらの写真は特別な方法で撮った。

ユーリー・シブネフ写真集『まだら豹の足跡を追って』から抜粋。プリアムールスキ・ペドモスチ出版（ロシア・ハバロフスク発行のみ）



絶滅危惧種（レッドリスト）に 指定されている野生動物は **7180** 種



今、世界では数多くの野生生物が、開発や人が持ち込んだ外来生物、乱獲などにより、絶滅の危機に瀕しています。2006年にIUCN（国際自然保護連合）がまとめたレッドリストには、絶滅のおそれの高い種として7180種の野生動物がリストアップされています。「マカマカの地球歩き」シリーズでは、絵本に登場する絶滅危惧種の動物たちの生態、現状など詳細なデータを巻末に掲載。「生物多様性」を守ることが、地球の未来につながることを伝える絵本なのです。

かみおゆり作・絵
WWF ジャパン監修
A5判変形 80頁
¥1,785 (税込) 駒草出版
ISBN 4-903186-05-9 C0793

アフリカゾウの子ども・マカマカが小鳥の友だちといっしょに旅をしながら、たくさんの野生動物たちと出会うお話。その中には、環境破壊が原因で絶滅の危機にさらされている動物たちもいました。



フロアでは、マカマカ絵本シリーズ、マカマカオリジナルグッズ(ペンケース、ボールペン、メモパッド、ノート、ポストカード)や、野生動物サポートグッズ結のTシャツ(アムールヒョウ、トラ、ゾウ)、手ぬぐいなどの販売を行います。これらの売上金の一部を国際環境NGO FoEジャパンを通じて、ヒョウの森を守るロシア・ケドロバヤ・パジ自然保護区に寄付いたします。

LEOPARD THE LAST 30 AMUR LEOPARD

お問い合わせ先
neocats
<http://www.neocats.jp/>

株式会社 neocats
神奈川県横須賀市不入斗町 2-11-1
T&F 046-826-1501/phs 070-6524-9653
mail info@neocats.jp